

①履 歴 書 《記入例》				
フリガナ	ヒロコク タロウ		(男)・女 写真貼り付け欄 4 cm×3 cm	
氏 名	広 国 太 郎			
生年月日(年齢)	西暦 1955 年 5 月 30 日生 (満 51 歳)			
本籍地又は国籍	広島県			
フリガナ	ヒロシマケン クレシ ○マチ ○チョウメ ○バンチ ○ゴウ	電 話	0823-00-0000	
現 住 所	〒737-0125 広島県呉市○町○丁目○番地○号	FAX	0823-00-0000	
		E-mail	0000@000.00.ne.jp	
フリガナ	ヒロシマケン カモケン ○マチ ○チョウメ ○バンチ ○ゴウ	電 話	0823-00-0000	
勤 務 先 住所・名称	〒737-0695 広島県東広島市○町○丁目○番地○号 ○○大学	FAX	0823-00-0000	
		E-mail	0000@000.00.ac.jp	
②学 歴 (最 終 学 位) 《記入例》				
年 月	事 項			
1900年4月	○○大学○○学部○○学科 入学			
1900年3月	○○大学○○学部○○学科 卒業			
1900年4月	○○大学大学院○○学研究科○○学専攻 博士前期課程 入学			
1900年3月	○○大学大学院○○学研究科○○学専攻 博士前期課程 卒業 修士(○○学)			
1900年4月	○○大学大学院○○学研究科○○学専攻 博士後期課程 入学			
1900年3月	○○大学大学院○○学研究科○○学専攻 博士後期課程 卒業 博士(○○学)			
学位の名称は 「医学博士」「博士(医学)」 など明確に区別すること				
③職 歴 《記入例》				
年 月	事 項			
1900年4月	株式会社○○○○ ○○部○○入社(1900年○○月まで)			
1900年4月	○○大学○○学部○○学科 講師(○○、○○)担当(2000年○○月まで)			
2000年4月	○○大学○○学部○○学科 准教授(○○、○○)担当(現在に至る)			

(注) 1. 「本籍地又は国籍」欄は、国および都道府県名を記載すること。

④ 免 許 ・ 資 格 《記入例》								
年 月	事 項							
1900年4月 1900年3月	○○○○○免許取得 ○○○○○○○取得（登録番号00000）							
⑤ 学 会 及 社 会 に お け る 活 動 等 《記入例》								
年 月	事 項							
1900年4月 1900年4月	日本経営学会 会員（現在に至る） 日本経営情報学会 会員（現在に至る）							
⑥ 賞 罰 《記入例》								
年 月	事 項							
1900年4月	日本機会学会 論文賞 受賞 【受賞論文名等】 ○○○○○○○○○○○○○○○○							
⑦ 職 歴（大 学 等 に お け る 授 業 担 当 の 明 細）《記入例》								
勤 務 先	職 名	学部、学科等 (所属部局) の名称	担当授業科目名	毎週担当 授業時間数				備 考
				専任	兼担	兼任	計	
〇〇大学	准教授	〇〇学部〇〇学科	〇〇〇〇学	6				
〃	〃	〃	△△△△学	5				

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏名 (印)

(注) 1. 「学会及び社会における活動等」欄には、学会活動の他公共団体等の委員会あるいはマスコミ出演等を含め記載すること。

記入例

①【履歴書】

1. 氏名
 - (1) 漢字等は、住民登録されている文字に合わせてください。
 - (2) フリガナも忘れずにご記入ください。(姓と名の間は1字分あけてください。)
2. 生年月日
生年月日は、西暦によりご記入ください。
3. 本籍地又は国籍
 - (1) 日本国籍の場合は、都道府県名をご記入ください。
 - (2) 外国籍の場合は、国名をご記入ください。
4. 現住所
 - (1) 丁目や番地を『ー (ハイフン)』で省略せずに、『〇〇丁目〇〇番地〇〇号』の形式でご記入ください。
 - (2) 住民登録されている表現に合わせてください。
5. E-mail でのご連絡先
ご連絡が可能な場合は、メールアドレスをご記入ください。

②【学歴】

1. 大学もしくは高等専門学校、またはこれらと同等以上と認められる学校を卒業以上の学歴を有する方は、それらすべての学歴をご記入ください。その他の方については、最終学歴を記入してください。学位も記入してください。
(入学、卒業、退学〈中途退学であっても省略しないでください〉およびその年月についても記入)
2. 詳細については、以下を参照してください。
 - (1) 大学
学部・学科までご記入ください。
 - (2) 大学院
研究科・専攻・課程(前期と後期に分かれる博士課程については、その別)までご記入ください。
博士課程(博士後期課程)については、「修了」「単位取得後退学」等明確に記入してください。
 - (3) 大学名称
 - ① 卒業後、名称変更があり、現行の名称と相違する場合は、卒業時の名称の後に、現行の名称を「(現 〇〇大学)」とご記入ください。
 - ② 旧制大学の場合は、大学名の後に「(旧制)」とご記入ください。
 - (4) 外国留学
学生としての留学についてのみご記入ください。なお、研究者としての外国留学は、「職歴欄」にご記入ください。
 - (5) その他
 - ① 卒業証書等を確認し、正確にご記入ください。

② 在学中の転部・転科および編入学についてもご記入ください。

③ 休学および復学についてもご記入ください。

③【職歴】

1. 職歴のすべて[職名、地位（職階）等も明記]についてご記入ください。
2. 各職歴について、いつからいつまでの職歴かが明確になるようにご記入ください。なお、現職については、必ず「現在に至る」と明記してください。
3. 同じ学校もしくは企業内での異動等に関しては、「〇年〇月まで」の記載の必要はありません。
4. 外国での職歴も正確にご記入ください。また、原語の場合は、訳を併記してください。
5. 大学等教員の職歴
 - (1) 所属されている学部・学科および職階（教授、准教授、講師、助手等の別）を記入いただくとともに、主な担当科目を（ ）内にご記入ください。
 - (2) 大学院を担当されている場合も、学部同様にご記入ください。
また、研究科名称、専攻、課程もご記入ください。
 - (3) 非常勤講師についても学部と同様に記入してください。
 - (4) 大学における役職等もご記入ください。
6. 外国留学
研究者としての留学についてのみご記入ください。
なお、学生としての留学は、「学歴欄」にご記入ください。
7. その他
 - (1) 自営業、主婦、無職等についても省略しないで記入してください。
 - (2) 担当科目に直接関係がある職歴については、できるだけ具体的に記入ください。
(例：看護学科の教員で看護師経験のある方については、当該看護師時の勤務病棟等)

④【免許・資格】

1. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についてご記入ください。
また登録番号等も付記してください。
2. 称号等についてもご記入ください。
3. 外国における資格については、原語とともに訳（内容）も併記してください。

⑤ - 1【学会活動】

1. 学会ごとに所属（就任）年代順に、ご記入ください。
2. 学会名は略さず正確にご記入ください。
外国の学会等も正確にご記入ください。また、原語の場合は訳も併記してください。
3. 各学会にいつからいつまでの所属（就任期間）かが明確になるようご記入ください。
なお、現在も所属（就任）されている場合は、必ず「現在」と明記してください。

4. 学会において、特別な役職を務められた場合、併せてご記入ください。

⑤ - 2【社会活動】

1. 所属（就任）年代順にご記入ください。
2. 名称等は略さず正確にご記入ください。
外国語の名称も略さずにご記入ください。また原語の場合は訳も併記してください。
3. 各活動については、いつからいつまでの活動（就任期間）かが明確になるようご記入ください。
なお、現在も活動されている場合、必ず「現在」と明記してください。

⑥【賞罰】

1. 賞罰について、ご記入ください。
2. 表彰については、表彰対象となった事実（論文名等）も併せてご記入ください。
3. 外国でのものについても正確にご記入ください。また、原語の場合は訳を併記してください。

【その他】

1. ページ右下にある氏名欄には、必ず氏名を記入してください。
2. 押印については、実印でなくても結構ですが、シャチハタ等のスタンプ印のご使用はご遠慮ください。
3. 用紙が足りない場合、ページを増やしていただいて結構です。ただし、様式の変更はご遠慮ください。
4. 職務調書は履歴書内の職歴欄となります。